

4 調査・区民支援事業



調査事業

ねり☆エコの特徴的な活動として、区民対象のアンケートや区民一人ひとりの省エネへの取組のサポート、学習機会の創出を目的とした事業を実施しています。

区民へのアンケート調査では、省エネに関する実践の結果や知りたい事、取り組んでいるエコな活動などを調査し、その後のねり☆エコの活動へフィードバックしています。

みどりの省エネ大作戦

(平成23年度練馬区内の家庭等における夏季節電状況調査)

練馬区の「ねりま eco チャレンジ!みどりのカーテン・プロジェクト」※参加者を対象に、区内における節電達成率の調査や、節電行動への取り組みに関するアンケートを実施し、今後の家庭における節電対策の参考にしました。

※夏の暑さを和らげ、室温を下げる効果のある「みどりのカーテン」にチャレンジする家庭に、無料でゴーヤの苗セットを贈呈する事業

調査方法 メールおよび郵送によるアンケート調査

調査内容 家庭における電気使用量を前年同月と比較して、取り組んだ節電の効果を自己判定する。参加者の自己判定結果の集計により、区内における15%節電達成率を推計する。

調査期間 平成23年7月～9月

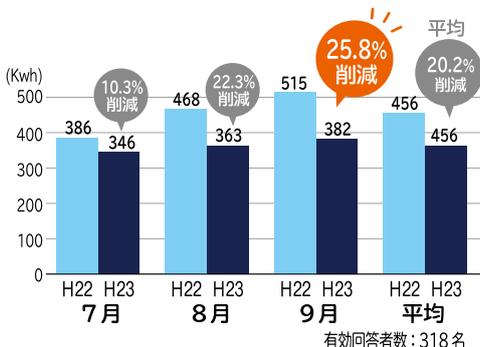
調査対象 1,422件

回答件数 439件(回収率30.9%)

調査結果

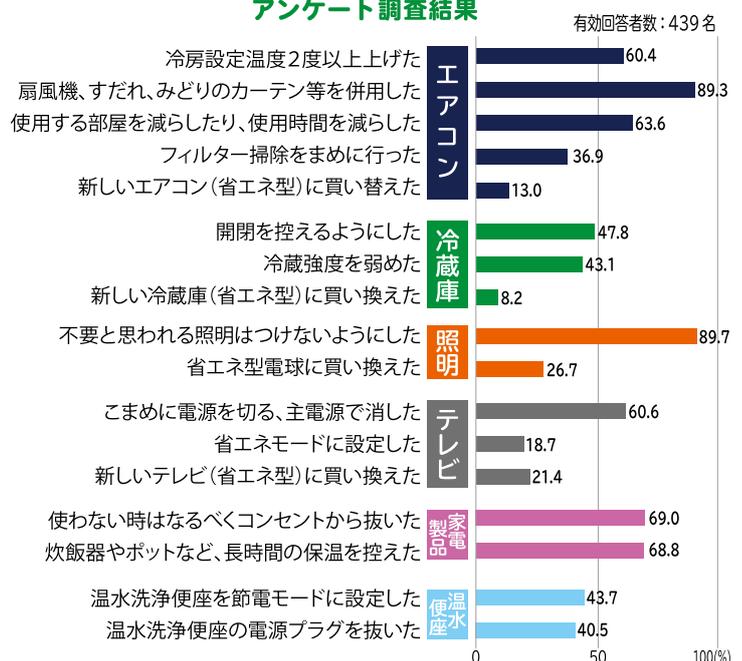
平成23年7月～9月の一世帯あたりの月間平均電気使用量を昨年度の同年同月と比較したところ、すべての月において削減量の増加が見られました。最高は9月の25.8%。3か月で平均しても20.2%となり、目標としていた15%の節電を達成しました。

1世帯あたりの月間平均電気使用量 7月～9月の検針票による前年同月比較



※検針票における7月分とは、7月に検針した日から過去1か月分の電気使用量に該当する。

節電に関する取組状況 アンケート調査結果



ねりま・おひさま発電所アンケート

(住宅用太陽光発電設備の使用に関する実態調査)



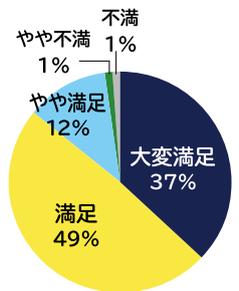
練馬区が太陽光発電などの設置導入費用を一部補助した家庭を対象に、使用実態と導入動機などについて調査しました。



- 調査方法** 郵送によるアンケート調査
- 調査内容** ①電気料金表に基づいた、住宅用太陽光発電設置前後の創エネ・省エネ状況
②調査家庭の属性と意識調査
- 調査期間** 平成 25 年 9 月 20 日～10 月 23 日
- 調査対象** 469 件 (24 年度補助対象家庭)
- 回答件数** 278 件 (回収率 59.3%)
- 調査結果** 平成 25 年 7 月～9 月の各月の平均発電量と平均売電量は、発電量、売電量ともに 8 月が最も多くなっていました。また、太陽光発電の設置動機は、「余剰電力の買取制度があり、経済効果が高いと思ったから」(65.1%) が最も多く、次が「省エネや地球温暖化防止に寄与したいと思ったから」(48.9%) でした。設置後の経済メリットを重視する一方で環境意識も高い設置者が多いことなどが分かりました。

太陽光発電設備の満足度

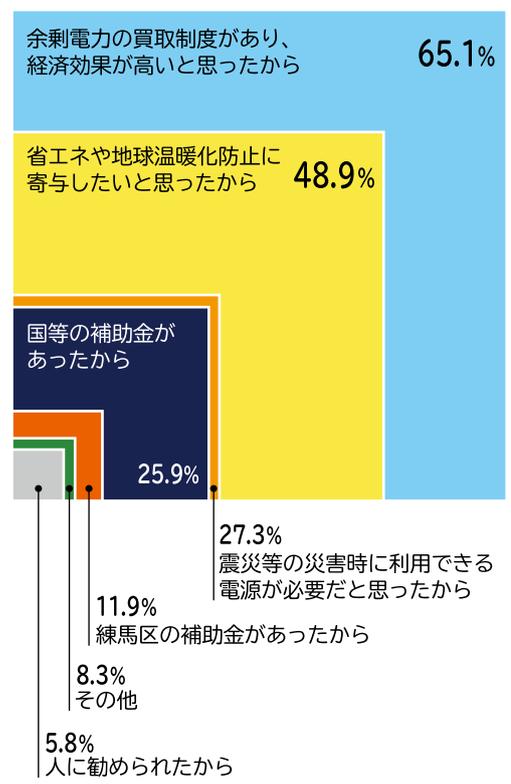
有効回答者数：277名



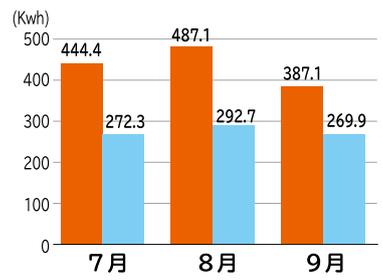
太陽光発電設備を設置した後の満足度は高評価でした。

太陽光発電設備の設置動機

有効回答者数：278名



発電量・売電量の平均値 平成 25 年 7 月～9 月



■ 発電量 ■ 売電量 有効回答者数：203～259名
 発電量－売電量＝自家消費量
 ※太陽光発電設備の平均容量は約4.04kW (有効回答者数=231名)

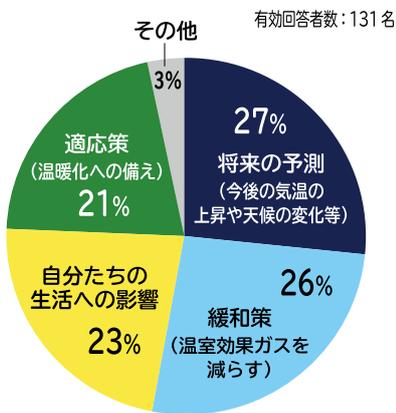
地球温暖化・省エネに関する練馬区民意識調査

18歳以上の区内在住者を対象に、区民の地球温暖化に関する考え方やニーズ、家庭での省エネの取り組み状況などを調査しました。

- 調査方法** パソコンやスマートフォン等から Google フォームにアクセスし回答
- 調査内容** 回答者の属性、地球温暖化対策について、家庭での対策について、練馬区やねり☆エコについて（設問数：45問）
- 調査期間** 平成30年11月1日～12月27日
- 調査対象** 18歳以上の区内在住者
- 回答件数** 131人

調査結果 地球温暖化の「原因を知っている」は90%を超えましたが、「説明は難しい」、「よくわからない」の合計は40%強でした。そして温暖化について最も知りたいことは、「将来の予測」、「緩和策」、「自分たちの生活への影響」、「適応策」がほぼ均衡しています。そして今後のねり☆エコの取り組みで期待していることは、「アドバイザーによる講座や講習会」が54%、「地球温暖化や省エネのノウハウが掲載されたリーフレット」が42%、「専門家や著名人による講演会」が38%、「地球温暖化や省エネ等に関するQ&A対応」が28%となりました。

地球温暖化について、最も知りたいことは？



家庭で実践している省エネ行動



今後、ねり☆エコに期待する取り組み

アドバイザーによる区民向けの講座や講習会等の開催	54%	地球温暖化や省エネのノウハウが詰まった本の発行	24%
地球温暖化や省エネのノウハウなどの情報が掲載されたリーフレットの配布	42%	ホームページによる地球温暖化や省エネ情報の拡充	24%
専門家や著名人による講演会の開催	38%	メールマガジンによる地球温暖化や省エネ情報の定期配信	21%
地球温暖化や省エネ等に関するQ&A対応	28%	地球温暖化や省エネに関する講師派遣	21%
区内の家庭の省エネ等に関する実証調査とその公表	28%	会員の事業者・区民団体・行政等と区民が交流できるイベントの開催	17%
子ども向けの講師派遣	26%	特になし	5%

区民支援事業

希望される方のご自宅へ直接伺い、使用実態に合わせた省エネ・節電のアドバイスを行う「省エネナビモニター事業」や、第一線で活躍する事業者・研究者の方から最新の知見を伺う連続講座「くらしのエネルギー・スキルアップ講座」、子どもと一緒に楽しく学べる「e-ラーニング」など、通常の講演会や講座からさらに一步踏み込んだ事業を展開してきました。



省エネナビモニター事業

家庭の省エネ・節電を促進するため「省エネナビモニター事業」を実施しました。「省エネナビ」は、家庭の分電盤にセンサーを取り付け、電気の使用量をリアルタイムに表示する機器です。

区内の希望者に「省エネナビ」を貸し出し、回収されたデータから電力使用傾向を調査しました。また、ねり☆エコ会員が希望者宅を訪問し、使用実態に合わせて省エネや節電のアドバイスをを行いました。

調査実施状況	年度	計測時期	計測期間	調査軒数	訪問回数
	23年度	7～9月	約2か月	10軒	3回/軒
		11～1月	約2か月	9軒	
	24年度	7～1月	約6か月	10軒	3回/軒
		8～2月	約9か月	9軒	
	26年度	11～2月	約3か月	1軒	(貸出のみ)



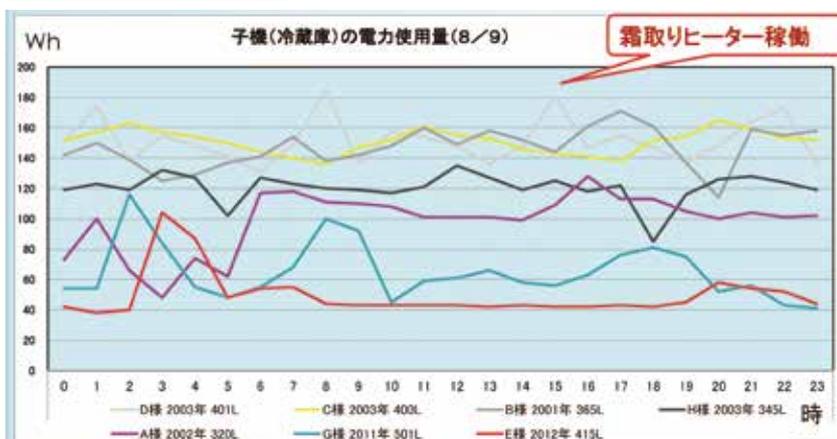
省エネナビ表示器

調査から見たこと

調査実施後の訪問では、「電気の使用量は刻々と変化していることがわかった」「自宅で使っている家電製品の消費電力量について、よくわかった」「つけっぱなしの電気やパソコンを消すようになった」といった感想が聞けました。

省エネナビモニター事業を通して、節電について家庭内で協力し合う機会を増やせたこと。そして、第三者のアドバイスにより、より効率的な節電を行っていただくことができました。家庭における節電の継続が期待されます。

ナビデータから見たこと 冷蔵庫の消費電力量（時刻別推移）



各家庭の冷蔵庫消費電力量を比較したところ、新しい冷蔵庫は大型化していても電力量が低い傾向にあった。

調査結果は、ねり☆エコの講演会で報告したり、ホームページに掲載したりしました。



くらしのエネルギー・スキルアップ講座

自らの行動で二酸化炭素排出量を削減する区民を増やすために、平成27年度～29年度まで連続講座を開催しました。

環境やエネルギー分野の一線で活躍されている方による講義や、家庭での効率的な機器、環境にやさしい住まい方など、技術者による具体的な省エネアドバイスを受けました。

講座修了者はその知識を活かして、ねり☆エコが出展する地球温暖化や省エネに関するパネルを説明していただくなど、事業に参画いただいています。

平成27年度（第1期）

参加者 30名（修了者24名）

プログラム 第1回7月17日（金）

- 「地球温暖化リスクと私たちの選択」
講師：江守正多（国立環境研究所） 他
- 「エネルギーの見える化ツールのご紹介」
講師：東京電力株式会社、東京ガス株式会社

第2回8月21日（金）

- 「省エネ 基本の“キ”」
講師：山川文子（エナジーコンシャス）
- 「省エネになるエアコンの使い方」
講師：松尾正徳（ダイキン工業株式会社）

第3回9月18日（金）

- 「自然エネルギーを活かしたエコ住宅」
講師：黒岩哲彦（株式会社エクセルギー）
- 「電気の安全で賢い使い方」
講師：一般財団法人関東電気保安協会

第4回10月18日（日）

- 「ねりま・エコスタイルフェア」体験実習

第5回11月20日（金）

- 「暖房・給湯の省エネ 電気・ガス編」
講師：東京電力株式会社、東京ガス株式会社
- 「給湯器の選び方」
講師：沼田美穂（環境カウンセラー）

第6回12月18日（金）

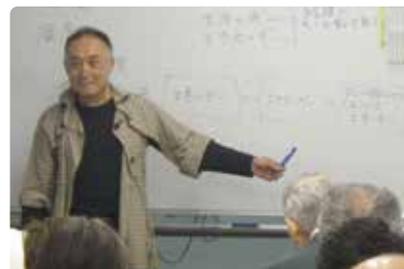
- パナソニックリビングショールーム東京 見学会
講師：吉村和義（パナソニック株式会社） 他

第7回1月15日（金）

- 「人にやさしいスマートな暮らし」
講師：一色正男（神奈川工科大学）
- 「練馬区の環境事業などについて」
講師：毛塚久（練馬区環境課）

第8回2月19日（金）

- ワークショップ「講座で学び、家庭で実践して効果があったこと・難しかったこと」
講師：深澤秀治（一般社団法人環境教育振興協会）



講座・ワークショップの様子
（写真上から第1回、第3回、第8回）

平成 28 年度 (第 2 期)

参加者 19 名 (修了者 15 名)

プログラム 第 1 回 11 月 18 日 (金)

「地球温暖化と異常気象」
講師：橋詰尚子 (気象予報士) 他

第 2 回 12 月 16 日 (金)

「家電の上手な選び方と使い方」
講師：中村剛 (家電製品総合アドバイザー) 他

第 3 回 1 月 20 日 (金)

埼玉県本庄市エコタウン 見学会
「本庄市エコタウンプロジェクトの概要について」
講師：春日達也 (本庄市経済環境部環境推進課)
「埼玉県エコタウンプロジェクトについて」
講師：松山謙一 (埼玉県環境部エコタウン環境課)
「四季の里事業について」
講師：金井哲郎 (でんきの ASK カナイ) 他

第 4 回 2 月 3 日 (金)

「自然のチカラを活かしたエコ住宅とは」
講師：山田浩幸 (環境エンジニア)
「高遮熱塗装、HEMS」
講師：東京ガス株式会社

第 5 回 2 月 17 日 (金)

ワークショップ「講座で印象に残ったこと・
ワットモニターで計測し、気づいたこと」
講師：沼田美穂 (環境カウンセラー)



講座・見学会・ワークショップの様子
(写真上から第2回、第3回、第5回)

平成 29 年度 (第 3 期)

参加者 30 名 (修了者 26 名)

プログラム 第 1 回 8 月 30 日 (水)

「地球温暖化の現状と持続可能な低炭素社会」
講師：藤野純一 (公益財団法人地球環境戦略研究機関
[IGES]) 他

第 2 回 11 月 15 日 (水)

「家庭でできる省エネのコツ」
講師：北間澄代 (東京都地球温暖化防止活動
推進センター) 他

第 3 回 12 月 19 日 (火)

東京コラボレーションショールーム 見学会
「水まわりから環境を考える」
講師：三村良輔 (TOTO 株式会社)
「全空気式床冷暖房について」
講師：浦川茂雄 (大建工業株式会社)
「住まいの価値は、開口部で変えられる」
講師：中島史郎 (YKKAP 株式会社) 他



講座・見学会の様子
(写真上から第2回、第3回)

第4回 1月17日(水)

「温熱環境と省エネを考えた家づくり」

講師：前真之(東京大学大学院)

「HEMSについて」

講師：米田さつき(パナソニック株式会社) 他

第5回 2月21日(水)

「練馬区の環境施策について」

講師：星野明久(練馬区環境課)

情報交流会「講座で学んだこと・活用方法について」



講座の様子(第4回)

ねり☆エコ e-ラーニング

自宅のパソコンやスマートフォンなどでアクセスできるクイズ形式のページ「e-ラーニング」を、ねり☆エコホームページ内に設置しました。「地球温暖化対策編」と「ねりまのエコ編」の2コースがあり、20歳～40歳代およびその子どもたちを主な対象にしています。自由研究のテーマにもできるよう、回答とともに解説や資料から世界の動きや身近なエコを学ぶことができます。

公開日 令和2年3月30日(月)

設問 地球温暖化対策編(10問)
ねりまのエコ編(10問)

URL

[https://
www.nerieco.com/
elearning](https://www.nerieco.com/elearning)



くらしのエネルギー・スキルアップ講座修了者からのひとこと

1・2・3期
修了者
広沢 重雄さん



1期だけのつもりが3期連続の受講となりました。座学も良かったのですが印象深かったのは各社のショールーム、本庄市エコタウンへの見学。そして、3期最後の講座では、受講のきっかけとなった我が家の太陽光発電について発表しました。発電は天候の影響が大きく、現在も気象データを参考に毎月発電記録をまとめています。

2・3期
修了者
飯尾 千綾さん



家庭内でのエネルギー消費量は、小さくても積み積もって大きくなっていることを改めて実感し、大変でも自分で細かく考えて、選択、工夫するようになりました。例えば、簡易電力量計で複数の扇風機を測り効率よく使い分けたり、お湯を沸かす時は温度、量、保温、CO₂排出量等を考えて、状況により機器を変えたりしています。